



フレンズ

山梨県立かえで支援学校相談・支援通信 第41号 平成23年7月8日発行

※「フレンズ」は、かえで支援学校の校歌(杉本竜一氏作)です。本校HPにてお聴きください。

よくある相談について、お答えします。

Q：特別支援学級に入級していれば、かえで支援学校に入学できますか？

A：知的学級であっても自閉症・情緒学級であっても、中学部入学の場合は、義務教育でするので、各市や地区の適正就学指導委員会でも方向付けがなされます。高等部入学の場合は、昨年度の入試要項によると出願の要件として、①療育手帳を取得しているか山梨県総合教育センターで所見が発行されていること②12月までに本校の個別の教育相談を受けている、ことになっていました。受検ですので、可否については受けてみないとわかりません。もちろん本校中3生も受検します。

Q：かえで支援学校へ年度途中で転入学したいのですが…

A：引っ越し等御家庭の事情がある場合は、年度途中でも可能です。在籍している学校で不適応をおこしてしまい、学習環境を変えたい等の理由の場合は、まず在籍学校、そして市の教育委員会へよく相談してください。転学を考える前に、現在の環境での適応を試みましょう。特別支援学校のセンター的機能を利用して、在籍の学校が支援を受けることもできます。県や市の巡回相談の利用も可能です。在籍の教育課程が途切れることは、子どもにとって好ましいことではありません。特別な事情がない限り、適正就学委員会を通過し、年度の変わり目に転学するというのが望ましいと思います。

Q：子どもが担任の言うことをきいてくれません。訪問支援を受けたいのですが…

A：まずは、コーディネーターが中心となり、校内で話し合いをしましょう。学年はもとより、昨年度の担任やベテランの先生方、管理職の先生方からも助言をもらいましょう。それらを受けて、様々試みはしたけれども、なかなか良い方向に向かわないという状態であれば、訪問支援も可能です。しかし、特別支援学校は障害児教育が専門です。通常の学級における学級経営への助言は、その分野の専門家に受けるのがよいでしょう。外部支援者にはそれぞれ得意分野がありますので、支援を受ける側が困っていることに対しての助言がもらえそうところへ依頼するとが大切です。どこへ依頼をしてよいか迷った時は、山梨県総合教育センター相談支援部特別支援教育担当へ相談してください。

Q：発達障害が疑われる子どもがいます。訪問支援を受けたいのですが…

A：上記のように校内委員会で話し合われていれうかがいます。現在の環境に適応できるような学習方法の提案や指示の出し方等、ノウハウに関して学校や園に支援をすることはできます。しかし、診断はできません。発達障害の診断は医療機関で行われます。特別支援教育専門家チームに判断を依頼し、結果によっては医療機関をすすめていただくことは可能です。

